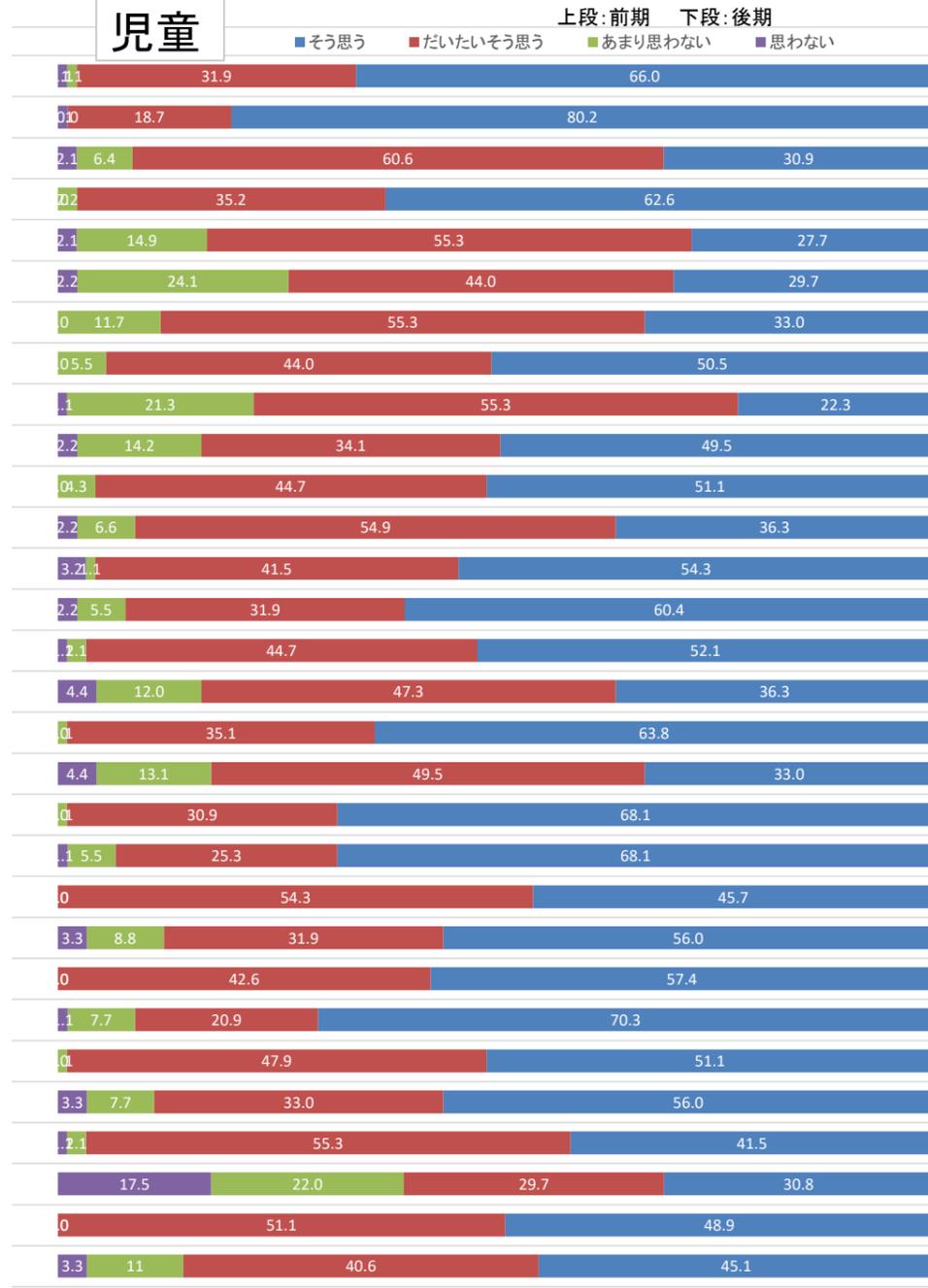


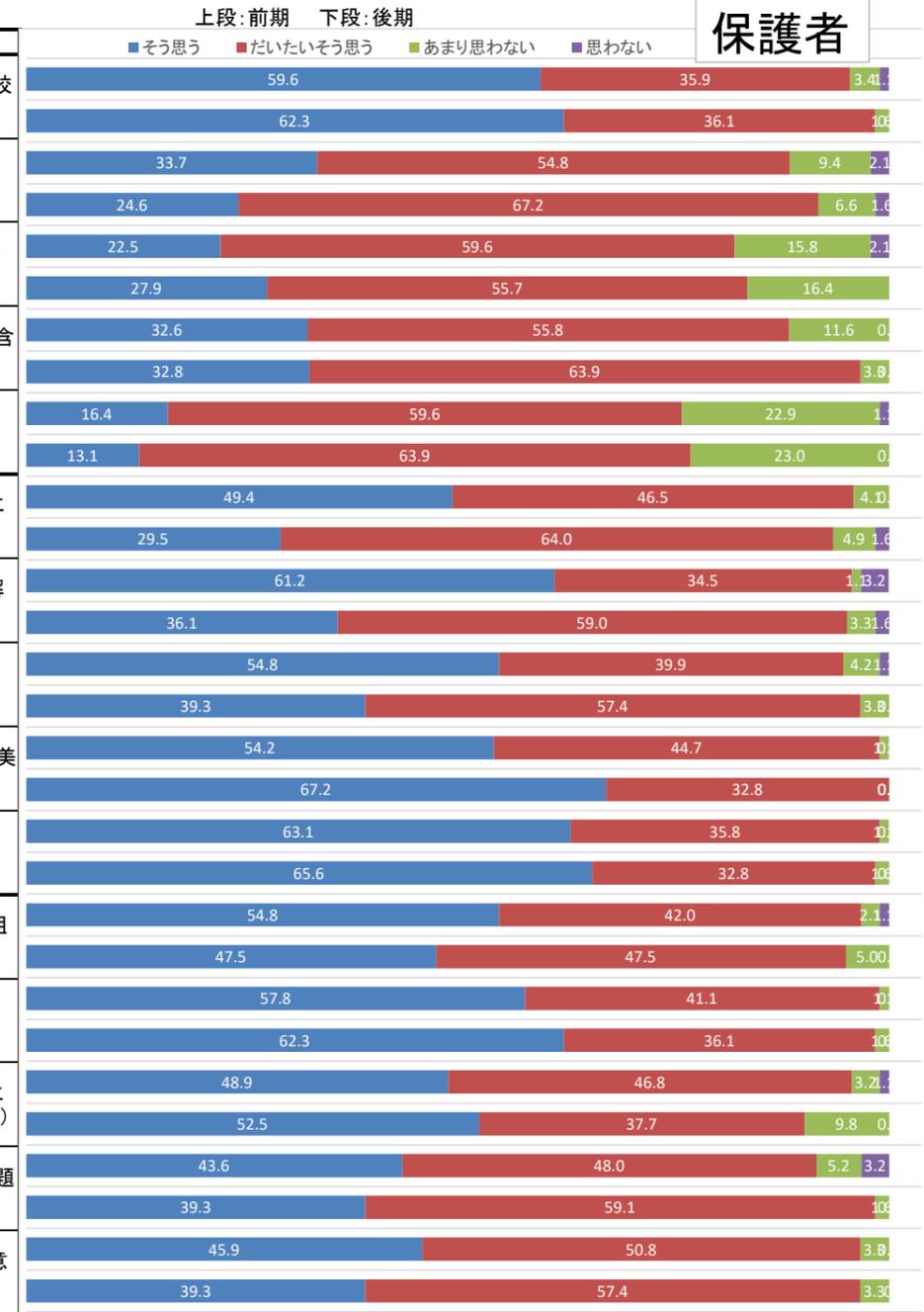
# 令和2年度 学校評価アンケート結果

小野部田小学校

## 児童



## 保護者



【アンケートへのご回答、ありがとうございました。全家庭からの協力が得られました。】

○今年度は休校期間が長く、児童においては、なかなか不安がぬぐえない前期となりました。後期になり、行事等は制限されたものの、逆に集中して学習に取り組めたようで、すべての項目で前期よりも格段に後期の方が高い評価となりました。特に「授業がよく分かる」と答えた児童が60%を超えたことは非常に評価できることであり、私たち職員にとっては励みとなりました。今後も継続していかなければなりません。

○保護者の皆様からは、各設問に対して「そう思う」と答えた割合が、前期に比べ後期の評価がほとんどの項目で低くなってしまいました。本年度の取組に対して厳しい評価ととられました。しかし、「だいたいそう思う」までの肯定感としてみると、全体的には高くなっている項目が多く、このことから、休校期間を含め授業参観等で来校する機会が極端に少なく、学校で子どもたちが活動する様子を目の当たりにすることが出来ず、評価が難しかったのではないのでしょうか。

○本校の課題であった「苦手なことにも粘り強く頑張る」ことについて、「だいたいそう思う」まで合わせると、保護者78%、児童83%と前期より伸びが見られ、学校や家庭での取組が肯定的にとらえられていると感じました。

○上記グラフには見えませんが、少数ではありますが、いくつかの質問項目において「思わない」との回答があることは、本校の明確な課題として、今後も粘り強く取組を継続していく必要があります。

○自由記述には、貴重なご意見をいただきました。「ランドセルの中身が重く、教科書等持ち帰らなくても良いのでは？」のご意見については、必要ないものは持ち帰らなくても良いこととしていますが、みなさまからの意見には賛否両論あり、今後タブレットの持ち帰りも含めて検討させていただきます。

上記以外にもいただきましたご意見や励ましに対しても、改善できる箇所はないか、十分職員間で協議し、次年度の取組に活かしていきますので、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。